

生態リスク初期評価 再評価物質の新旧結果（再評価を実施した3物質を再掲）

番号	物質名 [CAS番号]	前回の評価結果									第18次取りまとめ評価結果 ^(注1)										
		有害性評価(PNECの根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC(μg/L)	公共用水域	予測環境中濃度 PEC(μg/L)	PEC/PNEC比	総合的な判定 ^(注2,3)	取りまとめ	有害性評価(PNECの根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC(μg/L)	公共用水域	予測環境中濃度 PEC(μg/L)	PEC/PNEC比	総合的な判定 ^(注2)	変更概要
		生物種	急性/慢性	エンドポイント								生物種	急性/慢性	エンドポイント							
環境3	3-クロロ-2-メチル-1-プロペン [563-47-3]	-	-	-	-	-	-	-	-	第17次	-	-	-	-	-	-	-	-	○	水質調査結果は得られず、PECは設定できなかった。 PNEC設定に必要な生態毒性に関する知見は得られず、PNECを設定できなかったが、QSAR(定量的構造活性相関)による毒性予測を行い、評価の参考とした。 評価結果は、環境中への排出状況等より、「現時点では更なる作業の必要性は低い」とされた。	
環境4	1,3-ジクロロ-2-プロパノール [96-23-1]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	63	淡水 海水	< 2 < 0.03	< 0.03 < 0.03	×	第4次	甲殻类等 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	62	淡水 海水	0.53 0.07	0.009 0.001	▲	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECは変更された。 評価結果は、「更なる関連情報の収集に努める必要がある」とされた。
環境9	ニトログリセリン [55-63-0]	藻類 緑藻類	急性	EC ₅₀ 生長阻害	100	4	淡水 海水	- -	- -	×	第4次	魚類 ニジマス	慢性	NOEC 成長阻害	10	3	淡水 海水	- -	- -	○	新しい水質調査結果は得られず、PECは設定できなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECは変更された。 評価結果は、「現時点では更なる作業の必要性は低い」とされた。

(注1) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す。

(注2) ○:現時点では更なる作業の必要性は低い、▲:更なる関連情報の収集に努める必要がある、■:詳細な評価を行う候補、×:現時点ではリスクの判定はできない。

(注3) 総合的な判定は、第15次取りまとめまでは「評価結果」という項目名で表記されている。

(注4) 表中において、-はデータ等がないことを示す。